

健康で心豊かな地域づくり

# たかす

第200号  
令和4年3月20日  
千種町鷹巣自治会

## 鷹巣の益々の

### 発展を願って

『たかす』の発刊満三十年にして二〇〇号を迎えることができました。これも鷹巣自治会をはじめ各団体、住民の皆様のご理解とご支援のお陰と深く感謝いたしております。またこの仕事があったからこそ自身の心と身体の健康が保てたものと感謝しておる次第です。

『たかす』の発行にあたっては「挑戦」と「継続」をモットーに、大勢の方々に原稿のご依頼をいたしました。皆さん快く引き受けてくださり、こんな嬉しいことはあとにもさきにもありません。これを機に『たかす』の発行を後進に譲りたいと考えます。思うに鷹巣の将来に向けて心と力をついに一層の発展を促すための役割を果たすものと考えざるからです。

『たかす』を出すことで、鷹巣の皆さんの心にどれほどの反応があったか、それを明らかにする手立ては今のところ持ち合わせておりません。しかし、千種東小学校閉校後の『鷹巣東小学校』を拠点とする様々な活動の進展こそ、鷹巣挙げての協力の支援助の賜物と見なす事ができるのではないのでしょうか。

遠く『いろいろ学級』にはじまって、それが発展的に『交流クラブ事業』へと受け継がれ、地域づくり学習が深まる中で、活性化委員会が立上がり、地域づくりを事業としてとらえ、収入を得る活動へと変化発展させたのが、まさに今の鷹巣の姿です。鷹巣に生まれ生きて良かった。鷹巣に住まいして良かった。そんな鷹巣で生涯を閉じられることこそ最高の幸せーと言える鷹巣にしようではありませんか。『たかす』発行の後継者を是非に期待して止みません。

## 鷹巣は、いま?

### 自治会告知板

鷹巣自治会長 村上伸和



今年の冬は特に雪が多く、除雪に大変ご苦労されたことと存じます。まだ所々に残雪が見られますが、少しずつ寒さも和らぎ、春の訪れを感じます。間もなく田んぼや畑の作業が忙しくなる時期を迎えますがどうぞお元気で過ごしてください。

本年度も後僅かとなりました。振り返ってみますのに、昨年に引き続きコロナに振り回された一年でした。自治会恒例の行事等の開催も中止を余儀なくされ、人との交流が憚られる一年でした。そんな中ではありましたが、自治会役員様をはじめ地域の皆様には大変お世話になりましたこと、改めてお礼申し上げます。

ところで、本年も自治会総会には中止とさせていただきます。来年度新役員様の選出方法については昨年同様、現役員の推薦により決定し、皆様には事後報告により承認いただくこととなりましたので、どうぞご理解のうえ、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

新年度こそコロナも落ち着き通常の生活にもどってほしいところですが、一朝一夕には難しいところです。感染予防の対策をしっかり行い、少しずつでも改善に向かうよう願っております。今年一年間お世話になりました。誠に有難うございました。

## 活性化便り

活性化委員長 村上 廣 恭



残雪の鷹巣はまだまだ寒いですが、陽射しに春を感じる頃となりました。皆様如何お過ごしでしょうか。

活性化活動も早いもので、十二年目を迎えます。運営状況に問題はあるものの、次の段階へ進むことが可能な気がして参りました。平成二十三年の閉校以来、時の流れの早さを感じずにはおれません。一昨年より廣重さん・林君の若い協力隊員二人を迎えることができ、目にみえて変化してきました。

活性化活動を始めた当時は『ゼロ』もしくは『マイナス』からのスタートでしたが、現在は形はともかく、地元への還元がある程度出来る状況になりました。大まかな内容については自治会総会にて報告指せて頂きます。また、炭焼き窯

の改修工事の件は、狭いスペースでの作業のため二〜三人前後で二月一杯かけて完了いたしました。三月十五日には千種中学校一年生が体験学習に松炭の窯出しを体験します。

修繕前の窯に比べ今回はその比ではありません。質の良い炭が焼けるものと信じております。脱炭素社会に目を向けた子ども達の体験学習の場となることに期待をかけ、協力していきたいと考えております。

## 創立十年を迎えて

活性化委跡地活用施設支配人 金本秀夫



二年に余る新型コロナウィルス禍で世界が混乱している中、今度はロシアによるウクライナへの軍事攻撃です。ロシアの侵攻で学校、病院や住宅への攻撃が繰り返され、民間人の犠牲が急増しています。毎日写し出されるテレビにはロシア軍のミサイル攻撃や砲撃を浴びせられ、寒い中小さな子どもを連れて逃げ惑う母親の姿を見ると他国の出来事として平然とはしておられません。ロシアに対しては世界中で抗議活動が行われ、制裁措置が取られています。この戦争は世界の危機です。(裏へ)

日本にも、そして私たちにも大きな影響がでてくると考えられます。どうか一日も早い停戦と平和的解決を望みます。

そんな中、活性化委員会は創立十年という節目の期末を迎えております。前回の紙面でもお知らせしましたが、やっと十年目にして目標としていた売上げを確保することができました。

これはコロナ禍が幸いしたのか、いやコロナが無ければもっと多くのお客様に来て頂けたのか、すっかり見極める必要がありません。四月から新年度が始まりますが、更に一割増の売上げ計画を立てております。今までは完全なボランティアで運営して参りましたが、やっと人件費も計上することが出来るようになりました。これからも更なるご支援をお願いします。

ところで、今回『たかす』は発行第二〇〇号という大変めでたい記念紙になりました。お聞きすれば『たかす』は平成四年から三〇年間、金本勉先生により鷹巣自治会を中心に、鷹巣の出来事やその様子等を掲載し、ミニ情報紙としての役割を果たしてきたとおっしゃいます。誠に意義深い歴史のある新聞です。

先生は二〇〇号を最後に後進に発行をお願いしたい旨を発言されておりましたが、まだまだお元気な様子、どうか一〇〇歳まで、私たちの誇りでもある『たかす』の編集長であっていただきますようお願いする次第です。本当に有難うございます。

雪どけとともに

活性化事務局長 藤原 誠



雪の残る景色を見ながら、この一年を振り返っています。

コロナ対策に気を使いながらも来場者の受付を続けましたので、来場者数はこの十年で最大となり、延べ七〇〇〇人を超えました。詳しくは自治会総会報告をご覧ください。

日々の出来事で、特に心に浮かぶベスト十二を選び出しますと次のようになります。

- ①協力隊員二人が各隣保でお茶会を
- ②皆さんから寄付のこいのぼりが運動場で元気に泳ぐ
- ③市役所・県民局より視察訪問客を、ホテルが多かったので平上にご案内 大喜び
- ④河東小・都多小が自然学校に利用 今年是利用学校が増え 千種小中・波賀小中・一宮北小

- 山崎西小・戸原小等次々に
- ⑤体育館雨漏り修理見積四五〇万円 誰か寄付してくれる人はおらんかな
- ⑥北京パラリンピックの聖火の点火に鷹巣の炭使用
- ⑦県立西播磨文化会館のオンライン講座で鷹巣のガンバリ紹介
- ⑧新装なった繁盛小跡地イベントに十五名参加
- ⑨年末大掃除奉仕作業・消火訓練に四〇名参加
- ⑩炭焼き窯修繕初釜火入れ
- ⑪県庁主催地域起こし研修にリモート参加
- ⑫商工会青年部作成カレンダーに『たかのす東小学校』紹介

協力隊です

鷹巣二回目の冬がー 林 拓真



皆さんこんにちは、協力隊の林です。鷹巣に来て二回目の冬がやっと終りそうです。

今年はいよいよ雪が降りました。そんな中にも雪遊び、雪中泊を目当てにたくさんの方が、たかのす東小へ来てくださいました。子どもたちが雪遊びをしてい

るのを見ると、昔もこんな風景が広がっていたのかなと思えます。これからも多くの人にたかのす東小学校を利用していただけるよう、より良いキャンプ宿泊施設にしていきたいと思えます。

ひろしげのぞみ

雪の隙間から緑が地を割って伸び始めているのをみかけました。春ですね。私はどこか焦る気持ちとワクワクする気持ちが合わさって、落ち着かない今日この頃です。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

こうして『たかす』に言葉を載せる機会をいただき、やりたいたかと思いますが、カタチにするペースが追いついていないことを感じています。

言葉だけでなくカタチにしたものを皆さまに見て頂けるよう協力隊としての任期の残り一年を大切に過ごしていきます。一つは、たかのす東小学校のこと。「今のベスト」をいつも考えて、これからも積み重ねていきます。もう一つは、千草の拠点のこと。模索しながら四月にオープンし、ポチポチやっというこうと

思います。いつも支えてくださる方、気にかけてくださる方、本当に有難うございます。

文芸欄



ようやく鷹巣にも春の気配が感じられる今日この頃です。コロナ禍もさることながらロシア・ウクライナの関係は言語に絶する許し難いもの、一日も早い解決が望まれます。

白萩句会 (二月)

よもぎ餅みどりに染めて 旬の味 金本 勉

木々に雪まるでケーキの粉砂糖 森井 三千代

幾度も外に出てみる 雪の嵩 金本 百々子

(三月)

雪垂り音高らかに 屋根を打つ 金本 勉

寝返りの湯たんぼ位置の 右ひだり 森井 三千代

節分や大きな声で 豆をまく 金本 百々子